

あいである REPORT

レポート

NUMBER 15

令和5年12月
**712名に実家便を
発送いたしました!**



実家便を利用されている施設職員の声



鹿深の家

山田先生

毎年退園していく児童に「実家便」について話をすると、「東京の人も応援してくれるん?」「食材は助かる!」などこれからの生活を想像しているかのようなキラキラした眼差しで答えてくれています。年に2回、実家便を利用させていただいている児童の家に届けています。これまでは直接配送していただき「実家便届いたで」などのやり取りをしていましたが、2年前より自立支援担当職員が配置されたことで現在は「年2回、実家便を持って退園児童の家庭訪問」が定着しつつあります。

一箱ずつ、県内外にいる子どもたちの家のチャイムを鳴らし、一緒に箱の中を確認し「チョコめっちゃうらしい」「レトルト助かる、仕事から帰ってなんもしたくないときホンマ助かる」などなど…。あいである様からのメッセージや当時担当していた職員からのメッセージを書いたカードを同封していただいているのでそのメッセージを読み、泣いたり笑ったりと時間が許す限り一緒に過ごしています。食材などをキッチンに持っていき、日ごろの食生活なども知ることができています。「学園にいたときは3食あたりまえにご飯食べてたなー、ありがたかったわー」と当時を振り返りつつ、退園生から今の食生活を知ることができます。実際、冷蔵庫の中は水などの飲み物しか入っていない子どももいます。カップ麺やコンビニ弁当などで済ませる退園児童にとって、年2回の実家便は大変助かっています。

実家便を通し、それぞれの地域で生活をしている子どもたちの現状を知り、また退園してからも多くの方々に見守られ、応援してくださっていることは絶対、退園児童本人たちが感じています。これからも実家便を利用させていただきますので、今後とも卒園児童の応援団としてよろしくお祈りします。



救世軍機恵子寮

太田先生

実家便は、2016年より活用させて頂き、9人の卒園生にご支援を頂いてきました。新生活をスタートしたばかりの卒園生は、新しい生活への期待と共に生活面での不安を抱えています。そんな中で、心を込めた荷物を定期的に届けて頂ける「実家便」は、施設が卒園生と連絡を取る事のできる一つのきっかけになっており、効果の高さを実感しております。

生活に困っている卒園生は多く、実家便の対象に当てはまらないケースもたくさんあります。卒園生からの相談に乗りながら支援を重ねていますが、思いも含めて直接届けられるものはないかと考え、2年前に「実家便」の発想に辿り着きました。「実家便」のスタイルを真似て「機恵子便」と名付け、資金は、キリスト教団体より頂いたご寄付を活用し、今年度で2回目の発送をすることができました。荷物を送る時期は、「新しい年を温かく迎えて欲しい」という願いを込めて年末・年始の時期とし、支援物資の内容は、卒園生の生活状況に合わせて出来る限り個別で準備をしています。例えば、乳幼児を育てている家庭には「オムツ」、「お米を研ぐ時間もないほど忙しい」と話している学生には「無洗米」、シングルマザーとして奮闘している卒園生には「万能だ」と語った「ホットケーキミックス」、などなど、それぞれの卒園生に応援メッセージが届くよう、工夫をして荷物を作っています。今年度の新たな取り組みとして、生活物資と合わせて新たに「お米券」も同封しました。お米券は、それぞれの状況に合わせて活用してもらおうことができるため、好評でした。

卒園生が自信をもって私たちから離れていく事のできる日が来るまで、今後も思い込めて「機恵子便」を続けていきたいです。

★★★★★ 書籍出版のご案内 ★★★★★



2023年5月30日、当施設より「児童養護施設 鹿深の家「ふつう」の子育て」というタイトルで書籍を刊行いたしました。本書のキーワードは「ふつう」です。「ふつう」という言葉の響きには「ありふれた」というニュアンスが含まれているため、あたかも価値が低いかに感じる向きもあるかもしれませんが、自分たちも含め大半の人たちは、こうした「ふつう」の子育てを受けて概ね健全に育ってきたのも事実です。この自明の事実は、どの家庭でも行われているようなごく「ふつう」の子育ての中に、人が健やかに育つための秘訣、いうなれば「宝」がたくさん潜んでいることを示しているとは言えないでしょうか。専門書に多いハウツー本とは異なり、子どもたちとの暮らしの中で感じた生の声を担当ケアワーカーが言葉にした一冊となっています。また施設で働くケアワーカー以外の多職種(食育、事務、用務員など)の視点からも「ふつう」の子育てについて語っています。是非たくさんの方に手に取っていただけたら幸いです。

令和5年度12月継続支援者へ発送した実家便



実家便に同梱する「お米」の購入費用を「**お金をまわそう基金**」の寄付サイトにて集めています!

▼QRコードからご寄付いただけます▼

公益財団法人
お金をまわそう基金
(受付期間は2024年3月末まで)

※協賛品(寄贈品)については、その都度変わります。

最後の実家便最終回を受け取った子どもから、 施設の先生、支援者の方へ宛てた、 直筆のメッセージが届いています。

一部をご紹介します。
いたします。



まずは、実家便を準備し、送って
くださった支援者の方、施設の職員さん
本当にありがとうございます！最初は
「お母さんの甘えだ」とかかっては思っ
た実家便を受け取った中を見ると
たくさん食品が入って「本当にこんな
にたくさん食べられるかな...」と喜んでた
気がして「ボールがカラに...」
そしていっしょに実家便までかたどき期待して
いる自分がいました笑 本当に助かりました！
メッセージもちゃんと家に届いてお返し
本当にありがとう
ございました




長い間のご支援、
本当に有難うございました！
日用品、はじめても助かりましたし、
食品は大切にいただきました。
自分はいっしょに支えてくださった
皆様のように、誰かを支えられる
人間になることが目標です！
これからがんばります!!




5年間実家便をありがとうございました！
私は高2～高校卒業までという短い
期間しか入所していませんので、
「退所したら忘れられるんじゃないか」と
不安でした。
でも、施設のお手紙とたくさん
食品、日用品が送られてくるので、
「私の居場所はまだあるんだ」と
思えました。実家便を通じて知れた
暖かい繋がりをこれからも大切に
していきます。



あいであるの皆様、施設職員
の皆様、実家便を送って下さり
ありがとうございます。
実家便の中にはいつも施設職員
からの手紙が入っており、その度に
遠くから見守り、支えてもらっている
んだなと実感し嬉しい気持ち
今日も頑張ろうという気持ちに
なれました。これからも迷惑を
掛けたりあるかと思っております
よろしくお願ひします。



実家便が届くたびに、あいであるの
ボランティアの方や施設の職員さん
のお手紙が入っていて、それを読む
のが、嬉しくて、毎回楽しみに
していました。もう、実家便が
来ないのかと思うと、正直、さみしい
感じがします。けど、5年間も
支えてもらったのだから、私も社会
になって、誰かのために
がんばろうと思います！
今までありがとうございました。



毎回届く実便に、いつも
嬉しい気持ちでいっぱい
になりました。
実家便のおかげで、施設を
出たからの生活だけでなく、
コロナで先が不安だった生活
に負けずに心が生まれ
ました。



2024年4月1日より

実家便およびマネークリップレクチャーの 新規募集を開始します！



※募集要項を2024年4月1日に当財団法人
のホームページに掲載します。
(<https://idealideal.org/>)にてご確認ください。

「Yahoo!ネット募金」にて寄付 の受付を開始いたしました！

YAHOO!
JAPAN ネット募金

クレジットカードは100円から、
Tポイントは1ポイントから寄付できます。

右のQRコードからご寄付いただけます▶



皆さまからいただいたご寄付は、実家便に同梱する食品や
生活用品、防災用品の購入費用に充てさせていただきます！

Follow Me!



Instagramを 開設しました！

Instagram

あいであるの取り組みを身近に感じていた
けるよう情報を発信しています。

右のQRコードから、アクセスできます▶



公益財団法人

あいである

〒105-0004

東京都港区新橋1丁目18-16
日本生命新橋ビル3F